

CURIOUS MINDS

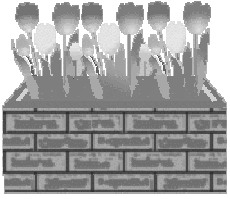
平成20年4月 第7号

発行: せんだい若者サポートステーション
〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12
TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691
Mail: info@saposute.ne.jp
URL: http://www.saposute.ne.jp

* せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。

～ “curious minds” の願い ～

“curious” とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心（＝楽しみを見出す力）をととても大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩みだしていこう、という思いで、この“curious minds”という名をつけました。



せんだいサポステ かわら版

新しいことが始まることが多い季節。せんだいサポステでも、この春から新しい試みがいくつかスタートしました。それらを中心に、最新の活動の様をお伝えします。

出前相談会スタート!!

4月8日(火)午前10時より、大河原合同庁舎にて、初めての出前相談会を開催しました。あいにくの雨にも関わらず、若者の皆さんやご家族、行政関係者など、多くの方が遠くから足を運んで下さいました。そのご報告を簡単にさせていただきますと・・・

◆午前の部: ミニセミナー(予約不要)

せんだいサポステセンター長の秋田敦子とアドバイザーの奥野潔和より、なかなか動けないでいる若者の状況や、親御さんの心境、そして就労へのプロセスなどを、事例を織り交ぜながらお話をさせていただきました。また、せんだいサポステの概要や具体的な活動内容もお伝えしました。

参加者の方からは、「今後の自分の動きが少し見えてきたような気がする」「せんだいサポステを紹介していきたい」などの感想をいただきました。

◆午後の部: 個別相談会(予約制)・・・色々なお話をお伺いしました。

今後も、よりパワーアップした出前相談会を開催していきます。(出前相談会の詳細は、ホームページをご覧ください。)

URL: <http://www.saposute.ne.jp>



開花宣言から間もない4月9日(水)、近所の八本松公園で、お花見をしました。メンバー18名、スタッフ3名、総勢21名の大所帯。

それぞれ自分の食べたいもの、みんなと分け合っただけで食べたいものを持ち寄ったのでしたが、朝早起きをして全員分の「ずんだおはぎ」を作ってきてくれたメンバーもいました。

(右下の写真が、そのおはぎです)

お花見しました

お腹が落ち着くと、ミニサッカー(?)に興じる人達や拾ったフリスビー風のおもちゃで遊ぶグループ、ひたすらおしゃべりに花を咲かせる一団と、めいめいに楽しい時間を過ごしました。



ただ、何といっても「寒かった!!!」

というわけで、それが一番印象に残ったことのようなのでした。

新メニューのご紹介

4月スタート

「サロン」(第1金曜日 11:00~14:00)

これは「お茶やお昼をとりながら、ゆったりとした雰囲気でお話を楽しみましょう」というものです。

どんな話題が飛び出すか、それは参加者の皆さん次第。予測が出来ない分、どきどきワクワクの3時間。

第1回目の4月4日(金)には9名のメンバーが参加し、日頃の思いや、サポステでの活動への抱負など、話題は多岐にわたり、参加者はそれぞれに充実感を味わったようでした。

「突撃!サポステ株式会社」

5月スタート (毎月1回実施 10:00~16:00)

これは一言で言うと、「仮想会社でのオフィスワーク体験」です。参加者はスーツ着用。午前中は実践しながら、電話対応や伝言メモの書き方・簡単なビジネス文書作成などを、午後は文書発送作業を行います。

基本作業を確実に習得することで、自信をつけるのがねらいです。

ご活用ください

この“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできるようになりました。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

URL: <http://www.saposute.ne.jp>

きょうちゃんの

お仕事探検隊

このコーナーは、せんだい若者サポートステーションのメンバーに担当してもらっています。自分の“今”、そして“これから”を懸命に模索している若者の声を、お届けします。

お話を伺った方・・・事務・渉外担当:鹿野紀子(かののりこ)さん



『縁の下の力持ちです』

紀子さんは、ヘルパーステーションで事務を担当しています。事務と一言で言ってもその会社によって内容が異なると思いますが、事務作業の月間予定表を見せていただき、わたしは圧倒されました。とにかく細々とした仕事が多いのです。「登録しているヘルパーさんが働きやすいように心がけています。縁の下の力持ちですね」

才色兼備な方には、憧れを抱きます。今回お伺いした紀子さんは、まさにその言葉にふさわしい方でした。

『自分の考え次第です』

最初は介護保険の仕組みがよくわからず、夜10時～11時くらいまで残業などもしていたと言います。専用のソフトもない、でもそれは、裏を返せば自分のやりやすいように工夫ができるということ。すると、残業もなくなってきたそうです。「自分の考え次第で改良できる余地が生まれてきます」

『やわらか頭が必要です』

介護保険に基づいたお仕事なので、3年ごとの見直しがあります。そういう現状に対応する力が求められるそうです。「やわらか頭が必要です。柔軟性が大切です」

『知的好奇心を持ちましょう』

「知ることによって、行動しやすくなり、一歩前へ踏み出すことができます。そうすれば、世界が広がり、自信が持てます。」インタビュー中、何度も語られた“知的好奇心”。知りたいと思うこと、知ろうとすることが本当に大事なのだと思いました。「きっかけは沢山あります。それを自分がどうとらえ、前へ進むかです」

『利用者さんに喜ばれたいです』

今後は、さらにパソコンのスキルアップをし、また、介護保険改正について行けるように知識をきちんと吸収したいとおっしゃる紀子さん。知的好奇心と相手を思いやる気持ちが大きいと感じました。



今回のインタビューは、事務の沢山のお仕事と、介護保険のお話がふんだんに出てきました。わたしの頭では、その情報量に思考回路がショートしてしまい、ただただ圧倒され続けてしまいました。

紀子さんの内面に存在する、お仕事へのあくなき探究心と情熱は、計り知れません。知的好奇心と柔軟な考え方があるからこそ、このお仕事に対応できるのではないかと思いました。スーツ姿もビシッと決まっていて、出来る方は外観からして違うなあという印象を受けました。でも、それでいて堅苦しくなく、うらかな春に咲く桜のようにふんわりとした朗らかな笑顔でインタビューに応じてくださる姿勢は、お人柄が表れていました。自分もそのような人になりたいと、いっそう憧れが強くなりました。鹿野紀子さん、本当にありがとうございました。



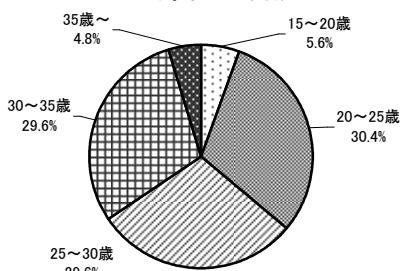
(BY きょうちゃん)

せんだいサポステDATA

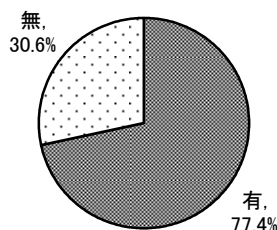
※平成19年5月14日～平成20年4月18日現在

登録者数 131名 (男性102名 女性29名)

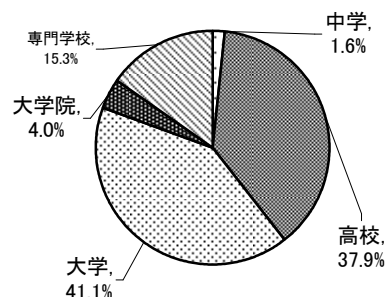
<登録者の年齢>



<職業経験の有無>



<最終学歴(中退を含む)>



来所者のべ数 1654名

相談件数 792件

イベント参加者のべ数 846名

進路決定者数 29名

(正規雇用6名 フルタイム非正規雇用19名 職業訓練3名 進学1名)